

採択し、それ以来続けてきた運動の成果であり出発点とみなされています。

ビラーン族の場合、基本的にはフィリピンの国内問題です。しかし、経済的に自立できるよう彼らを支えている私たちとしては、フィリピン政府の先住民政策の動向も気になるところです。(山崎)

∞ マルンゴン町のビラーン族に「先祖伝来の土地保証書の交付」 ∞

2月11日付ファックスでCMB(ノノイ神父)は以下のように伝えてきました。

— 明日アトウモロック分校に行きます。そこでマルンゴン町の全ビラーン族コミュニティーのリーダーに「先祖伝来の土地保証書」交付のセミナーが開かれます。昨年これは法律で認められました。(Indigenous People Rights Act 1997)。約60人が出席する予定です。—

∞ インフォメーション ∞

- * 「ミンダナオのビデオを見て、ミンダナオのことを話し合おう」 2月27日 6:30-9:30 東京千駄ヶ谷社会教育館にて。詳細はHANDS事務局または主催者の芳村さん TEL&FAX 03-3330-4334 または アガ・リン・サテ・カセさん TEL&FAX 048-253-3942 まで。
- * 4月中旬、ビラーンのコミュニティ訪問を予定しています。日本文化紹介とビラーンの子どもたちの健やかな成長を願って、会員の笠井さんが立派な鯉のぼりを寄贈して下さいました。現在 HANDS 事務局でお預かりしています。この鯉のぼりを持って現地訪問を考えています。参加ご希望の方は、3/15までに詳細を事務局までお問い合わせ下さい。
- * 4月11日(土) HANDS 例会をいつもと同じ横浜駅西口5分かながわ県民活動サポートセンター10階で開催します。ビラーン通信11号(案)を持参しますので、ご意見いただければ幸いです。事務量も増えてまいりました。活動方針のご相談もしたいと思います。多くの会員の参加をお待ちしています。現地訪問日程との関係で、日時変更の可能性がります。ご出席の方は前もって(10日までに)事務局までご連絡下さい。

∞ 新入会員 ∞

(敬称略)

(正会員) R-33 三国(神奈川) (奨学会員) E-68 (2口) 北原(茨城) E-69 遠藤(埼玉) E-70 (3口) 金原(東京) H-16 吉田(埼玉) S-2 長谷川(東京) (1997. 12.11~1998. 2.14)
現会員数は：(正会員) 31名 (奨学会員) 72名 (賛助会員) 16名・・・奨学会員数には、正会員で同時に奨学会員としてご支援下さっている方の数は含まれていません。

∞ ご寄付ありがとうございました。 ∞

会員の皆様には、会費納入に加えて、今回も給食費・医薬品購入費などの緊急支援、その他各種ご寄付をいただき、心より感謝申し上げます。ここにはいつものように誌面の関係で、賛助会員及び一般市民のご寄付に付いてのみお名前を紹介させていただきます。ご了承ください。金原永治様(東京) 古橋千賀子様(静岡) 今村勝子様(愛媛) (1997. 12.11~1998. 2.14)

ミンダナオ先住民族「ビラーンの医療と自立を支える会」 Health Assistance & Neighborhood Development Support 略称 HANDS 事務局：〒227-0033 横浜市青葉区鴨志田町516-11
TEL：045-962-0824 FAX：045-962-1933 E-Mail：hands-ty@246.ne.jp